

椎弓切除術を受けられる患者さんへ

患者氏名：

主治医：

受け持ち看護師：

項目	月日 入院日	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目～12日目	手術後13日目 退院	
達成目標		<ul style="list-style-type: none"> 手術や術後の状態について理解し、不安なことや疑問点は質問することができる 発熱がなく身体が準備が整っている 転倒・転落の危険性を理解し予防することができる 痛みの増強時に報告ができ疼痛緩和の処置を受けることで疼痛が緩和したと言える 感染予防行動（手洗い・うがい・口腔ケア・シャワー等）がとれる 	<ul style="list-style-type: none"> 自覚的な症状（下肢の痛みやしびれ、麻痺症状、尿や便が出にくい、吐き気や頭痛、胸部症状など）を医療者に伝えることができる 痛みが増強した際に報告ができ、疼痛緩和の処置を受けることができる 手術部位感染の危険性を理解し、感染予防行動（口腔、傷口の清潔の保持）がとれる 深部静脈血栓症予防の必要性を理解し、予防行動をとることができる コルセットや創部保護剤による皮膚トラブルを予防できる 	<ul style="list-style-type: none"> 体位交換を行い、褥瘡（床ずれ）の発生を予防できる ベッド上で腰部の安静を守ることができる 	<ul style="list-style-type: none"> リハビリテーションの必要性を理解し実施できる コルセットを正しく装着することができ、腰に負担をかけないように注意できる 転倒の危険性を理解し転倒を予防することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ドレーンが抜けて歩行器または車椅子に移乗できる 	<ul style="list-style-type: none"> 退院後の注意点について理解し不安なことや疑問点は質問することができる 	
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ	<ul style="list-style-type: none"> 現在内服しているお薬は医師の指示に従ってください 手術前日の21時頃に下剤を飲みます 	<ul style="list-style-type: none"> 指示された薬のみ内服します 病棟で点滴をします ご家族と一緒に手術室へ行きます 	<ul style="list-style-type: none"> 抗生剤の点滴があります 	<ul style="list-style-type: none"> 今まで飲んでいた薬を再開し、新たに鎮痛剤の内服が開始となります 内服薬は看護師が配ります 	<ul style="list-style-type: none"> 点滴、酸素マスク、ドレーン、尿の管があります 心電図モニターと肺塞栓症予防のために足にフットポンプをつけます 痛みがあるときは、痛み止めに点滴します 	<ul style="list-style-type: none"> 傷の消毒を行い、ドレーンを抜きます 	<ul style="list-style-type: none"> 傷口が見えるフィルム剤を貼付します 必要時に張り替えます。 手術後11日～14日に剥がします 	<ul style="list-style-type: none"> 滑り止めや浴用椅子を使用し、転倒しないように注意して下さい 定期的な外来受診やリハビリテーションを継続します 退院後も続く内服薬がある場合は継続して内服します
検査	<ul style="list-style-type: none"> 採血やレントゲン撮影等がある場合があります 	<ul style="list-style-type: none"> 特にありません 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後に採血があります 	<ul style="list-style-type: none"> 朝食前に採血があります 	<ul style="list-style-type: none"> 手術後3日目と7日目、11日目に採血を行います 手術後7日目にレントゲン撮影を予定しています それ以外でも必要に応じて検査を行う時にはお知らせします 			
活動・安静度	<ul style="list-style-type: none"> 特に制限はありません 転倒予防のため必ず踵のある靴を履きましょう タバコを吸ってはいけません 		<ul style="list-style-type: none"> ベッド上安静です 腰部の安静のため、1人で体の向きを変えることはできません ナースコールでお知らせください 	<ul style="list-style-type: none"> ドレーンの抜去防止のために頭を上げる時は看護師が行います 	<ul style="list-style-type: none"> コルセット装着を開始します 初回の歩行は医師または看護師と一緒に歩きます 医師の許可があるまで、必ず看護師と一緒に移動しますので、トイレや移動の際は必ずナースコールでお知らせください 	<ul style="list-style-type: none"> 医師の許可があれば1人で歩行器歩行が可能となります 	<ul style="list-style-type: none"> 医師の許可があるまでコルセットは外せません。正しい位置で、しっかりと締めます 重い荷物を持つたり、腰をひねる、過度に腰を曲げるなどの動作を避けて下さい 	
食事	<ul style="list-style-type: none"> 昼食よりお部屋に配膳します 食事でアレルギーがある方はお知らせください 絶飲絶食の時間は麻酔科医師の診察後にお知らせします 	<ul style="list-style-type: none"> 麻酔科医の指定された時間まで水分（水・お茶のみ可）を摂ることができます。絶飲絶食の時間をお守りください 	<ul style="list-style-type: none"> 絶食です。飲水は主治医の許可を得て開始します 	<ul style="list-style-type: none"> 手術前と同様の食事が始まります 				
清潔	<ul style="list-style-type: none"> シャワーに入ってください。介助が必要な方は介助します 化粧やマニキュア等はとってください 	<ul style="list-style-type: none"> シャワーはできません 		<ul style="list-style-type: none"> 体拭き、洗髪を患者さんと一緒に計画を立てて行います 医師の許可が出るまでシャワーには入れません 	<ul style="list-style-type: none"> シャワーの許可が出たら、必要に応じて介助をします 	<ul style="list-style-type: none"> 腰をかがめられないため、柄つきブラシがあると便利です 		
排泄	<ul style="list-style-type: none"> 医師の指示がなければ、特に制限はありません 		<ul style="list-style-type: none"> 尿の管は入れたままです 便意がある時は看護師にお知らせください。ベッド上安静のため、オムツを使用しての排泄となります 	<ul style="list-style-type: none"> ドレーン抜去後に尿の管を抜きます 排尿と排便はトイレで行う事ができます 		<ul style="list-style-type: none"> 和式トイレにはかぶせ式便座を使用しましょう 		
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	<ul style="list-style-type: none"> 病棟クラーク（事務職員）が病棟の案内を行います クリニカルパスに沿って手術前オリエンテーションを実施します 主治医から手術説明、麻酔科医から麻酔の説明があります。手術説明は家族同伴で行いますので、そのまま帰らずにお部屋でお待ち下さい 手術に必要な同意書を記入し、看護師に提出してください <p>【ご家族の方へ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 病室へ入室の際は、部屋の前で手指消毒をお願いします 	<ul style="list-style-type: none"> 化粧をしてはいけません 指輪、義歯、コンタクトレンズ、時計、ピアス等の貴金属類や湿布をはずしてください 手術衣に着替えて肺塞栓症予防のための弾性ストッキングを履きます トイレを済ませストレッチャーに乗り、3階の手術室へ移動します ご家族は、手術室入室前までに直接病棟へお越しください 手術中、ご家族は2階のデイルームでお待ちください 	<ul style="list-style-type: none"> 主治医より、患者さんとご家族へ手術の経過について説明があります 深部静脈血栓症予防のため足首の底背屈運動をしましょう お尻や足の痛みやしびれが強くなった、足が動かなくなったなどの症状はすぐにナースコールで伝えましょう 床ずれや合併症予防のために看護師と体位を変えます。体の向きを変えたい時は、ナースコールでお知らせください 痛みがあるときは軽い痛みでも痛み止めを使いますのでナースコールでお知らせください 	<ul style="list-style-type: none"> コルセットを正しく装着し腰部の安静に努めましょう コルセットのふちなどで皮膚が赤くなったり、痛みがあるときは医療者に教えてください 重たいものを抱えるような動作や腰を曲げてかがむ動作は避けましょう 水分をしっかり摂ること、足の底背屈運動を心掛け、深部静脈血栓症予防に努めましょう 履きなれた靴を正しく着用し転倒・転落予防に努めましょう *詳細はパンフレットに書いていますので必ずご参照ください 	<ul style="list-style-type: none"> コルセットは保険対象外となるため一旦自費負担となりますが、手続き後に返金されます 	<ul style="list-style-type: none"> 医療保険等の診断書が必要な場合は、1階診断書窓口で手続きを行ってください。書類作成には約2週間かかります 	<ul style="list-style-type: none"> 病棟クラーク（事務職員）が会計票を、看護師が預っている内服薬を病室までお持ちします。病室でお待ちください 退院後初回再診日まで、不明な点、不安な事がありましたら、パンフレットに記載してある連絡先にご連絡ください 	
手術の準備物品	<ul style="list-style-type: none"> 手術前日までにT字帯2枚、平オムツ2枚（1階のローソンに売っています）、曲がるストローまたは薬のみ、必要時スプーンやフォークを準備してください 手術当日より、病衣借用が必要となります（1日80円）ので、専用の申込用紙に記入し入院総合案内受付に提出してください。使用しなくなった場合、使用中の手続きが必要ですので看護師へお申し出ください 手術後はリハビリテーションが始まりますので、履き慣れた靴や動きやすいズボンを用意してください マジックハンドや靴べら、柄つきブラシがあると便利です 							

この経過表は入院から退院までのおおよその経過をお知らせするものです。諸所の理由で経過通りにいかない場合もありますことをご了承ください。

宮崎大学医学部附属病院



なんでも相談ください